

第7回 日本 TRIZ シンポジウム 2011 プログラム紹介

2011年 4月 12日

TRIZ シンポジウム プログラム委員長 中川 徹

TRIZ シンポジウムのプログラムのうち、一般発表（オーラル発表、ポスター発表）を現在募集中ですが、招待ベースの企画を以下のように計画しております【敬称略】。どうぞご期待ください。

第1日（9月8日(木)）「セミナーの日」 日本語トラック

チュートリアル：「TRIZとは」 講師：小西 慶久（創造開発イニシアチブ）他 [午前 120分]

TRIZ は初めてという方に分かるように、TRIZ の基本を解説します。

テーマ講演と討論(a)：「課題解決における TRIZ の位置づけ」

講師：熊坂 治（熊坂技術士事務所） [午後 60分]

講師が作成した「ものづくり課題・解決マトリックス」で、開発プロセスの各場面のどんな課題に対して、どのような技法が有効であるかをまとめて話します。

テーマ講演と討論(b)：「TRIZ ソフトウェアツールの現状と活用法」 [午後 110分]

いくつもある創造性技法の中での TRIZ の特長は、特許などから抽出した、科学技術や発明原理、進化のトレンドなどの膨大な知識ベースを持ち、それらを便利なソフトウェアにしていることです。下記の3者が話します。

(b1) 「Invention Machine 社のソフトツール」 鹿倉 潔 (IMC ジャパン)

(b2) 「Ideation International 社のソフトツール」 上村輝之 (アイディエーション ジャパン)

(b3) 「CREAX 社、Systematic Innovation 社のソフトツール」

堀田政利（創造開発イニシアチブ）

テーマ講演と討論(c)：「USIT 法の使い方・考え方」 講師：中川 徹（大阪学院大学） [午後 70分]

TRIZ のエッセンスを捉えて再編成し、「やさしい TRIZ の実践プロセス」と位置づけられているのが USIT です。USIT を使って考えるプロセスを解説します。

第1日（9月8日(木)）「セミナーの日」 英語トラック

[午前 2時間、午後 4時間]

アドバンスドセミナー：「GEN3 Innovation Discipline (G3:ID) – an Advanced, Business-Oriented

TRIZ-based Methodology」、講師：Simon Litvin (GEN3 Partners)

講師は世界のTRIZをリードしているTRIZマスターの一人です。基調講演に先んじて、ビジネス指向でTRIZを活用し、イノベーションに導くための考え方と実践法をじっくり6時間話していただきます。いくつもの事例を交えて、分かりやすくしていただきます。

第2日（9月9日(金)）「コンファレンスの日」

基調講演：「Main Parameters of Value: TRIZ-based Tool Connecting Business Challenges to Technical Problems in Product Process Innovation」、

講師：Simon Litvin (GEN3 Partners) [午前 80分]

技術分野の問題解決技法として出発したTRIZにとって、どのような問題を捉えるべきか、本当にビジネスとして成功するためにどのようにチャレンジするべきかが、大きな問題です。「主要価値パラメータ」を捉え、追求することがその鍵だと、主張しています。

第3日（9月10日(土)）「コンファレンスの日」

特別講演：「等価変換理論の紹介」(仮題)

講師：鈴木 俊介（等価変換創造学会、(株)経営技法） [午前 80分]

等価変換理論は、故市川亀久彌教授(同志社大学)が1944年以来開発したもので、世界に誇る日本の創造性技法の一つです。その考え方や事例を紹介いただきます。日本独自の創造性諸技法とTRIZとの交流を増し、互いに消化・向上を目指します。